

令和6年度第1回江南市子ども・子育て会議 会議録

会議名：令和6年度第1回江南市子ども・子育て会議

開催日時：令和6年6月3日（月） 午前10時から午前11時25分

場所：市役所 防災センター3階 救護室

委員：出席委員11人（うち代理出席1名）

岡田 和明（子ども・子育て支援に関し学識経験のある者）
杳名 珠子（その他市長が必要と認める者）
石川 勇男（関係団体の代表者）
伊藤 靖祐（子ども・子育て支援に関する事業に従事する者）
河合 荘太郎（関係団体の代表者）
白川 裕羽（公募により選定された者）
杉本 一正（関係行政機関の職員）代理
武田 裕美（関係団体の代表者）
永田 裕美子（関係団体の代表者）
野呂 美鈴（関係団体の代表者）
横山 史明（関係団体の代表者）

事務局：坪内 俊宣（健康こども部長）

間宮 徹（こども未来課長）
長谷川 崇（子育て支援課長）
村田 志穂（こども未来課指導保育士）
大脇 宏祐（こども未来課副主幹）
高田 昌治（子育て支援課副主幹）
加藤 あかね（子育て支援課副主幹）
中村 由香（子育て支援センター所長）
葛谷 美智子（健康づくり課副主幹）
山田 勇文（こども未来課主任）
柘植 真緒（こども未来課主事）

傍聴人数：1人

議題

(1)江南市子ども・子育て支援事業計画の進行管理について

資料1 江南市子ども・子育て支援事業計画 進行管理

(2)江南市立宮田東保育園・藤里保育園の統合整備（案）に関するパブリックコメントの結果について

資料2 パブリックコメントの結果について

参考資料 江南市立宮田東保育園・藤里保育園の統合（案）について

(3)第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の策定及び江南市子ども・子育て支援に関するアンケート調査の集計結果について

資料3 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の策定について

資料4 アンケート調査結果報告書

報告

(1)幼保連携型認定こども園みどりの風幼稚園の概要について

資料5 幼保連携型認定こども園みどりの風幼稚園概要

部長あいさつ

会長あいさつ

議題1 江南市子ども・子育て支援事業計画の進行管理について

事務局説明（資料1）

質疑

委員 3 ページ(3)地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）について、令和5年度に利用者が急増しているが、市内と市外の人数割合を伺いたい。

事務局 市外の方は令和5年5月のコロナの5類移行までは受け入れない状況でしたが、5月以降から市外の方も利用していただけるようになっていきます。第2、第3子育て支援センターの市外の利用状況はこれまでと変わりませんが、布袋駅東複合公共施設の中にある第1子育て支援センターは、1割程度が市外の利用者となっています。

委員 6 ページ(11)乳児家庭全戸訪問事業について、利用率は何%程度か。

事務局 利用率は99.1%となっています。令和5年1月から伴走型相談事業が始まり、赤ちゃん訪問の面談を受けた方に5万円給付というものを始

めていますので、利用率が100%に近い状況になっています。

議題2 江南市立宮田東保育園・藤里保育園の統合整備（案）に関するパブリックコメントの結果について

事務局説明（資料2、参考資料）

質疑

委員 あずま・中央の統合移転に関しては民営化という形だったが、宮田東・藤里の統合は公設公営になった経緯を伺いたい。

事務局 今回統合する2園は市の北部に位置する保育園で、現在、定員充足率が50%程度であり、市内の古知野地区や布袋地区に比べて少子化が進んでいる地域です。こちらの地区で民営化を進めた場合、民間事業者が参入する可能性が低いのではないかとということで、今回は公設公営で整備する方向で考えています。

委員 藤里小学校のプールの授業はどうなってしまうのか。

事務局 現在、藤里小学校における水泳の授業は全学年、民間のスイミングスクールにバスで移動し、2コマ続けてインストラクターからの補助を受けて行っていますので、学校のプールは使用していない状況です。そのため、プールの解体を7年度に行い、プールの跡地に保育園を建てるという計画をしています。

議題3 第3期江南市子ども・子育て支援事業計画の策定及び江南市子ども・子育て支援に関するアンケート調査の集計結果について

事務局説明（資料3、資料4）

質疑

委員 第2期を策定したときの受託業者と今回の第3期の受託業者は同じか。また、前回の計画を見直してきたが、目次を比べると前回の第2期には第3章に主要事業の掲載があったが、今回はカットされているのか。

事務局 受託業者は、入札により第2期とは違う業者となっています。主要事業の掲載については、今回は第4章という形で章全体でより詳しく子ども・子育てに関する事業を掲載していきます。前回の計画は事業の掲載が非常に少なかったのですが、今回は市全体の事業を網羅していく予定です。

委員 0～2歳の子どもの保育ニーズの高まりを感じることはあるか。

事務局 現在、日本全国で少子化がすすみ、0～2歳のお子さんの数自体は減り

つつありますが、アンケート結果にもあるとおり、共働き世帯の増加に伴い、低年齢児の保育ニーズは高まっていると感じています。年度当初での待機児童は発生していませんが、年度途中には発生してしまっている状況もあり、低年齢児の保育ニーズは今後も上がり続けることが予想され、次回の計画にしっかりと盛り込んでいきたいと考えています。

委員 周りの若い世代の声を聞いていると、働いているお母さんが育児休暇を取りやすい世の中になりつつあるが、2人目、3人目を出産されたときには、早くフルタイムで働かないと経済的に苦しいという声を聞く。フルタイムで働きたいと思ったときに、なかなか年度途中の入園は難しいと思うが、子どもを預ける方法や選択肢が狭いと、子どもの人数等でも二の足を踏むことに繋がってしまうため、フォローアップ、セーフティネットをぜひお願いしたい。

委員 140 ページの男性の育休取得について、取得した割合が 15% というまだ低い結果だったが、行政として男性の育休取得を加速させる施策はあるか。

事務局 男性の育児休業の取得は、ここ 1~2 年で柔軟な形で進んできていると思います。ですが現在、市の独自の施策などは考えていません。

委員 前回の会議で、江南市として少子化対策の具体的な施策がまだないという話だったが、以降進展があればお聞きしたい。

事務局 現段階で確定している事業はありません。生まれてからの支援は制度を踏まえて充実させようとしているところではありますが、子どもそのものの数を増やすというのは大変難しい課題だと感じています。

委員 156 ページ、その他の主な意見に「不登校の小学生が通えるフリースクール、学習の場を増やしてほしい」とあるが、どのくらいの不登校の生徒がいて、どのくらいの施設があるのかお伺いしたい。

事務局 今、データを持ち合わせていないため次回の宿題とさせていただきたいが、適応指導教室 You・輝のほか、民間でも居場所づくりで開設しているところがあると聞いています。

委員 小学校、中学校のそれぞれで不登校生徒児童数は非常に増えているのが現状です。中学校においては、各学校に不登校の生徒が通えるようにサテライトルームがつくられています。小学校はなかなか人員の配置等が難しく、今までできていませんでしたが、今年度までに小学校 3 校で校内にサテライトルームのようなものをつくり、専従職員の

配置をしてもらっています。学校以外ですと公的で無料の You・輝が市役所の近くにありますが、遠方の小学生が通うには保護者の送迎が必要になるので、自転車で通う中学生が多くいるように感じています。

委員 調査結果の中で共働き世帯が多いということだが、実際に本当に共働き世帯が多いのか。また今回、声を上げていない人はどんな層なのか調べる術はあるのか。

事務局 共働き世帯の率について、詳しい数字は持ち合わせていないが、国勢調査の結果と同程度となっています。アンケートに答えられなかった方がどういう層なのかということは難しいですが、回答率は前回よりは下がってはいるものの、他の計画のアンケート回答率と比べると高い結果でした。今回のアンケートに答えた結果が江南市や保育、教育に影響を与えると多くの方が認識されていたのではないかと思います。また、外国人の方も対象に WEB 回答のみで実施しましたが、設問数も多く、かなりの負担だったとも感じましたので、次は回答しやすい方法を検討しておこうと思います。

報告 1 幼保連携型認定こども園みどりの風幼稚園の概要について

事務局説明（資料 5）

質疑なし